

健康長寿・データヘルスの推進について

【担当省庁】厚生労働省

健康寿命の延伸を図るには、健康・医療・介護等のデータに基づく一人ひとりへのきめ細やかな健康づくり対策（データヘルス）を、ライフステージに応じて切れ目なく実施することが重要である。

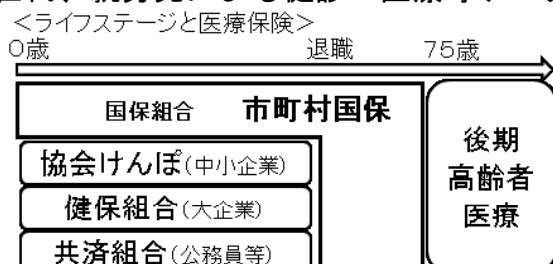
健康・医療・介護等の情報をビッグデータとして活用可能にする「保健医療データプラットフォーム」を早期に構築し、人生100年時代に向けてデータヘルスに取り組める環境を整備していただきたい。

また、構築に当たっては、地方自治体等が、二次医療圏や市町村等を単位とするデータに基づき、地域の健康課題や個人の健康阻害要因を明らかにし、保健事業と介護予防事業の一体的な実施など効果的なデータヘルスを講じることができるようしていただきたい。

なお、都道府県が市町村や民間企業と連携して、加入する保険者を限定せずにデータヘルスに取り組むことのできる新たな財政支援制度を創設していただきたい。

【現状・課題等】

- 令和2年度からの運用を目指し、健康・医療・介護データの第三者提供の制度化や匿名での連結解析を可能とする「保健医療データプラットフォーム」が構築予定
- 定年退職というライフステージの大きな変化を迎え、前期高齢者となる60歳代へのデータヘルスについては、都道府県と市町村が連携して、健康・医療・介護のデータを分析し、エビデンスに基づく疾病予防・重症化予防等の保健事業と生活機能の改善を図る介護予防事業を一体的に実施することが、健康寿命の延伸にとって重要
- 国民健康保険調整交付金や介護保険調整交付金は、事業対象が被保険者等に定められており、府民全体への一体的な施策（IoT等を活用した食や運動の環境整備など）を展開するためには、保険者を限定しない形での財政支援が必要
- 世代、就労先による健診・医療等データの管理主体の変遷



京 都 府 の担当課	健康福祉部 高齢者支援課 (075-414-4570) 医療保険政策課 (075-414-4576) 健康対策課 (075-414-4724)
---------------	---

【国の事業等】

■概算要求〔厚生労働省〕

- ▶ 健康寿命の延伸に向けた予防・健康づくり 1,514億円＋事項要求
(令和2年度予算1,500億円)

■経済財政運営と改革の基本方針2020（令和2年7月17日閣議決定）

感染症、災害、救急等の対応に万全を期すためにも、医療・介護分野におけるデータ利活用やオンライン化を加速し、PHR（Personal Health Record）の拡充も含めたデータヘルス改革を推進する。

【京都府の取組】

■健康長寿・データヘルス推進プロジェクトの概要

京都府では、市町村や民間企業と連携してライフステージに応じた切れ目ない健康増進対策による府民の健康寿命の延伸を目指し、地域の健康課題の分析やPDCAサイクルに沿った効果的な施策展開を推進することを目的とし、平成30年6月に、庁内横断組織となる「健康長寿・データヘルス推進プロジェクト」を設置

■きょうと健康長寿・データヘルス推進事業（令和2年度予算66,000千円）

区分	事業	内容
環境整備	ヘルス博 Kyoto 2020 の開催	多様な主体が情報交換を行う機会を創出し、効果的な取組をマッチング
働き盛り世代や健康無関心層への対策	民間企業と連携した健康づくり	・民間ノウハウを活かした健康づくりインセンティブ制度の構築 ・理美容室と連携したオーラルケア対策 ・きょうと健康づくり実証企業認証
	中食世代に対する健康おぼんざいの普及	スーパー等と連携し、中食等のおぼんざいに塩分量を表示
データ分析に基づく健康づくり対策	データ分析に基づく心疾患発症予測システム	死亡率が高い心疾患発症予備軍を予測し、発症リスクを可視化
	糖尿病重症化予防対策	人工透析への移行を防ぐために保健指導体制を充実
	介護保険PDCA推進強化事業	高齢者の自立支援・重症化防止のため、市町村の計画策定を支援
	データ活用能力向上等の人材育成研修	データ活用・分析ができる市町村・保健所職員等を育成